令和８年度　第１回　城南図書館・児童館　共創推進協議会
（城南児童館運営審議会）議事要録

1　開催日時及び場所

令和 8 年 7 月 22 日(水)　14：00～15：00

場所：熊本市立城南図書館・熊本市城南児童館　遊戯室

2　出席者　18 名

尚絅大学短期大学部　幼児教育学科　教授

熊本市立隈庄小学校　校長

熊本市南区文化協会　会長

隈庄校区青少年健全育成協議会　会長

豊田小学校ＰＴＡ　会長

隈庄校区自治協議会　会長

城南地域ブランド力向上委員会　ＴＥＡＭ城南ワンダホー　会長

杉上校区主任児童委員・民生委員

城南子育て支援センター(小木こども園)

親育ち支援の会　ポトフ　会長

地域子育てクラブピカピカ　会長

城南まちづくりセンター　城南公民館　館長

熊本市こども局　こども育成部　こども支援課

熊本市教育委員会事務局　教育総務部　熊本市立図書館

城南図書館管理運営共同企業体　代表

3　議事内容

1）令和 8 年度事業計画及び取り組みについて

2）利用者数等の報告

・資料に基づき、事業計画及び取り組み、利用者数等について報告

・アンケート集計結果について、資料に基づき、別途報告

4　質疑応答

「城南図書館・城南児童館へ意見等」

委員 A

私も長年こちらでいろいろと関わらせていただいておりますが、非常に質の高い基準で継続して運営されている点が本当に

素晴らしいと思っております。数値的なところでも高い水準を保ち続けながら長年運営されていますし、アンケートを見ても満足度の高さが伺えます。数値目標を立てるとどうしてもそれに固執してしまいがちですが、先ほどお話にありましたように、数値だけではなくそれを保ちつつ、より良いサービスや地域課題にも目を向けていくということ、これは非常に大切なことだと思っております。

今日から夏休みに入りました。こどもたちの目線で考えると、学校から離れて家庭や地域で過ごす時間が長くなり、学校での居場所が一時的になくなりますので、こうした公的機関や公共の役割は非常に重要になってくると感じております。

また、ボランティアの活用が推進されているという点も大変重要です。地域の方々がボランティアとして地域を形作っていく取り組みを、今後もぜひ推進していただきたいと思います。最後に 1 つご質問ですが、現在ボランティアの方が 70 名ほどいらっしゃるとのことでした。具体的にどのような地域・年齢層の方が、どのような活動をされているのか教えていただければ幸いです。

回答：城南夏祭りのボランティア 73 名の参加者は、城南夏祭り実行委員会が中学校へ出向き、全校生徒への呼びかけを行い、中学生 73 名の参加となりました。城南児童館のボランティア 23 名の参加者は城南図書館・児童館で実施している城南中高生ボランティア TEAM に登録している中学生・高校生・大学生の学生ボランティアです。

委員 B

資料や説明を伺いながら、こんなに素敵な場所がある今のこどもたちは本当に幸せだなと思いました。自分がこどもの頃にこういう場所があれば、毎日図書館に通っていたのではないかと思いながら聞いておりました。

学校にも図書室はありますが、毎日通う子は随分減っております。本よりもタブレット、家に帰ればスマホといった生活が定着しているためです。だからこそ、こちらで行われている行事や取り組みのような「リアルな体験」が今のこどもたちには本

当に必要だと感じます。今後も町全体でこどもたちを見守り、育てていってほしいと思います。学校としてもできることをしっかりこどもたちに身につけさせていきたいです。これからもよろしくお願いいたします。

委員 C

資料の中で、令和 8 年度に「文部科学大臣表彰」を受けられたことを初めて知りました。文化協会でも少子高齢化への対応が課題となっており、人生 100 年時代を迎える中で会員の高齢化が進んでいます。年を召された方々がこうした図書館などでこどもたちと接する時間を増やせれば、より豊かに過ごせるのではないかと感じました。

以前テレビ報道で「昔は書店と図書館が敵対していた」という話を聞いたことがあります。しかし現在は、図書館に来られた方が気に入った本を見つけて「買いたい」と言えば書店を探して案内したり、その逆のケースもあったりするそうです。これこそが、先ほどおっしゃっていた「共創の時代」ではないかと思います。また、これからの時代は AI を活用した子育ても注目されるのではないでしょうか。

委員 D

全く話をしないお子さんがおりまして、ある日、その子とカードゲームをした際、「特定の言葉を言わないとカードが取れない」というルールの中で、その言葉を口にすることができたのです。

それをきっかけに接し方を変えていったところ、今では少しずつ声を出して話すようになり、1 日 1 時間程度であれば私たちと一緒に教室に入れるようになりました。カードゲームが良いきっかけになったと感じています。こちらの新規事業である「みんなでボードゲーム」では、具体的にどのようなゲームをされているのかとても興味があります。また、ボランティアの方も来られているのですか？

回答：カードゲーム等につきましては、講師の方が 100 種類以上を所有されており、多彩なゲームを持ち込んでいただいております。説明をしながらこどもたちと一緒に遊び、やり方を教えながら進めております。家族で体験できるものや小さいお子様でも楽しめるものなど、目的や内容に応じた様々な種類のゲームを揃えております。参加者が 1～2 名で「もう少し加わると盛り上がる」という場面では、私たちや学生ボランティアが間に入ってサポートをしております。世代を超えた交流を生むという意味でも、非常に良い取り組みになっていると実感しております。

委員 E

図書館や城南児童館の利用者数が前年よりも伸びているのは、職員の皆様のご尽力のおかげだと感謝しております。豊田小学校の校区からこどもだけで児童館に来るのは距離的に厳しい面もありますが、夏場は外遊びに暑さや危険が伴うため、「こんな良い場所があるよ」とこどもたちに案内していきたいと思います。

委員 F

8 月には、隈庄小学校の 3・4 年生を対象にゲーム大会を開催予定です。2～3 年前から実施しているのですが、参加者が集まりにくく普及に苦戦していました。そこで今年は 3 種類のゲームに限定し、対戦形式の大会としました。WEB フォームから申し込めるチラシを配ったところ、早速エントリーが入っており嬉しく思っています。こどもたちの思い出に残る夏休みにしたいと考えております。

委員 G

城南町の魅力を発信する活動をしております。先ほど報告にありましたように、図書館・児童館とコラボレーションした多くのイベントを開催させていただき感謝しております。また、文部科学大臣表彰のご受賞、誠におめでとうございます。アンケー

ト結果を見ると、児童館利用者の約 5 割が Instagram から情報を得ているとのことで、私たちの活動の参考にもなりました。私たちの TEAM 城南ワンダホーでは、ポリシーの 1 つに「自らも楽しむ」を加えました。城南夏祭りで中学生ボランティアを募る際、「単に楽しむだけでなく、自分が関わることで人を喜ばせた時は何倍も楽しい」と伝えたところ、70 名以上の中学生が集まってくれました。その取りまとめも児童館で行っていただき、今年は例年以上に盛り上がるのではと期待しております。

また、「あかちゃんふれあい体験会」にたくさんのこどもたちが参加し、終了後に「もっとあかちゃんと触れ合いたかった」と言っていたのがとても印象的で感動しました。こうした温かい心を育む城南図書館・児童館は素晴らしいと感じております。

委員 H

文部科学大臣表彰につきましては私も初めて知りまして、広報などでもっと周知する機会があると良いと感じました。利用者数も多く、イベントの質を落さずに新しいことへ挑戦されている姿勢は大変素晴らしいと思います。主任児童委員として「あかちゃんふれあい体験会」を一緒に実施させていただき、今年で 3 回目となりました。たくさんの中学生が参加してくれたほか、今回は見学に来られた民生委員の方々もお手伝いをしてくださり、とても生き生きと活動されていました。普段は高齢者支援が中心の民生委員の方々にとっても良いきっかけになり、取り組みの広がりを実感しています。今後もぜひ継続していただきたいです。

委員 I

普段から子育て事業を通じて城南図書館・児童館と連携でき、大変嬉しく思っております。支援センターからも児童館を案内しておりますが、児童館側でも支援センターの案内をしていただき感謝しております。児童館のイベント後に支援センターへ立ち寄られるご家庭やその逆もあり、子育てを楽しんでいる保護者の姿が見受けられます。これからもご兄弟の状況等に合わせてどちらの施設もスムーズに利用できるよう、児童館と協力して充実した子育て支援を行っていきたいと思いま

す。今後ともよろしくお願いいたします。

委員 J

私たちの会では、子育て中のご家庭を訪問して家事を共に行う協働活動や、傾聴活動を行っています。引きこもりがちなお母様方を訪問した際に児童館や支援センターを案内しております。事業の「はじめの一歩」でも私たちの活動をご紹介いただき感謝しております。

私自身、豊田校区で主任児童委員も務めており、今度校区内で高齢者とこどもたちが一緒に楽しめる「e スポーツイベント」を開催する予定です。今後、図書館や児童館ともコラボレーションできればと思っております。ありがとうございました。

委員 K

地域子育てクラブでは、乳幼児を中心に感触遊びや外部講師を招いてのリトミック、乳幼児ママパパ教室を活用したイベントなどを児童館と協力して開催しています。新規・継続問わず多くの方に入会いただき、楽しく活動しております。夏まつりなどの大型イベントでは学生ボランティアの方々と関わる機会もありますが、彼らの生き生きとしたボランティア精神が今後も大切にされ、将来親になった時にまたこの施設を利用してくれたら嬉しいです。また、長女が小学 1 年生になり小学生向けイベントに参加する機会が増えました。料理教室や足育教室など、親子で学び楽しむ貴重な機会となり有意義な時間を過ごせています。これからもぜひ参加させていただきたいです。いつもありがとうございます。

委員 L

毎月、児童館・図書館と定例会議を行っており、様々なイベントでの協力や公民館イベントへの積極的なご参加をいただき大変感謝しております。今後も多くのイベントが計画されているとお聞きしておりますので、ぜひ協力させていただきたく

存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

企業体代表

皆様、本日は貴重なご意見とお褒めの言葉をいただき、誠にありがとうございました。

文部科学大臣表彰の周知についてご意見をいただきました。本来であればもっと大々的に広報すべきことかもしれませんが、私たちは「日常の地道な取り組みが評価された結果」であり、自分たちだけの力で受賞したものではないと考えております。そのため、ホームページ等での公開にとどめ、それ以上の過度な広報は控えさせていただいたという経緯がございます。ご理解いただけますと幸いです。

「共創」につきましては、現在でも十分な連携ができていると感じておりますが、私たちが次に目指すべきは「地域の公共施設として地域資産の価値を引き上げること」だと考えております。このような会議で各団体や委員の皆様の活動を共有し、「一緒に取り組めることはないか」と考えていける場を提供することこそが、公共施設の役割であると思っております。城南地域には精力的に活動されている組織が多く、非常に恵まれた環境にあります。今後も公共施設として果たすべき役割を模索してまいりますので、お気づきの点がございましたらご指導いただけますと幸いです。

最後に、当施設で毎月発行している広報誌（りんくす等）の紙面の一部を「地域情報だより」として開放し、皆様の活動をご紹介していきたいと考えております。情報をお寄せいただければ積極的に掲載してまいりますので、ぜひご活用ください。本日は誠にありがとうございました。